

予備合宿

2年 鈴木真人

この一年を振り返ってみるといろいろをことがあった。麻雀大会に始まった1974年もあと1ヵ月になってしまった。春合宿 新歓ラニ 予備合宿 夏合宿 スバルラインT.T. など数多くの行事がありそのなかに思い出が残っている。その中でも思い出してみても価値あると思うものは予備合宿である。他の人々にとってはそれほど思い出深いものではないだろうけど私個人にしてみれば自分というものを見つめ直すよい機会であったと思う。

今年の予備合宿は3泊4日の予定だったような気がする。気がするのではなく実際そうだったのだ。ところが私の責任で2泊3日で終わることになった。本当にクラブに対してまたクラブの皆さんに対してすまないと思っている。

7月12日から始まった予備合宿は沼田より金精峠まで日光へ出てそこから霧降高原を通り、2もみじラインへ行くはずであった。1日目、2日目は行事もなく無事に過ぎた。そして3日目の朝、空には雲一つなく霧降高原とは名ばかりの名前とばかりはなれた空であった。朝から暑い一日でもあった。

3日目は予定では霧降高原から唐境の森へ降りて2もみじラインへはいる計画があったが、現地に行くとみても12日までに降った雨のために通り抜けできないことがわかったため大笹林道を下り、今市にはいる手前より会津西街道にはいり2もみじラインへ行くこ

とに変わった。

問題はここからである。口で言えば「簡単である」事故ったのである。倒んだ瞬間自分としてはたいしたことはなくただたぐさみの箇所をすりおいた者という感じだったけどよく見ると数ヶ所が小石でえぐられたような傷になってる。さすがにびびったね。それよりもカメラを心配していたのも事実だが、あと自転車が走れるかどうか心配だったけど充分走れることがわかり一安心と思っ。ているうちに血が出てきたりして、応急手当をして今市の駅で輸送して大岡山まで帰り、治療してもらおうとある病院に行くとそこを空想"入院"と言われ、事故った時よりもびびってしまった。結局ちゃんと5泊6日も入院させられてしまった。

ほんとみんなには悪いことをしてしまったと思っている。自分でも入院するとは思わなかったし、いろいろ迷惑をかかえた人もいた。今思っても言葉に書くと出てくる心のわだかまりがあるよう気がする。

とにかくみなさんすみませんでした。

みなさんも事故には身をつけて下さい。

☆ ESCA加入の保険が保険金1,500円をもらえたのでここに報告しておきます。